

飲酒運転がダメなのは

7月13日
飲酒運転
根絶の日



北海道飲酒運転の
根絶に関する条例が制定されました。
私たち北海道民は
「飲酒運転をしない、させない、許さない」



飲酒運転…発見したら警察に通報!

交通安全対策七者連絡会議は飲酒運転根絶に向け全力で取り組みます。

(北海道、北海道教育委員会、北海道警察、札幌市、公益社団法人 北海道交通安全推進委員会、一般財団法人 北海道交通安全協会、一般社団法人 北海道安全運転管理者協会)

公益社団法人 北海道交通安全推進委員会



飲酒運転 に対する厳罰

酒酔い運転

罰則

5年以下の懲役または
100万円以下の罰金

違反点

35点→免許取消し



酒気帯び運転

罰則

3年以下の懲役または
50万円以下の罰金

違反点

25点(0.25mg以上)

→免許取消し

13点(0.15以上0.25mg未満)

→免許停止



※()内の数値は呼気1リットル中のアルコール濃度

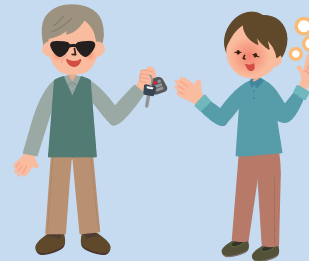
車両提供の禁止

罰則:酒酔い運転

5年以下の懲役または
100万円以下の罰金

罰則:酒気帯び運転

3年以下の懲役または
50万円以下の罰金



酒類提供の禁止

罰則:酒酔い運転

3年以下の懲役または
50万円以下の罰金

罰則:酒気帯び運転

2年以下の懲役または
30万円以下の罰金



同乗の禁止

罰則:酒酔い運転

3年以下の懲役または
50万円以下の罰金

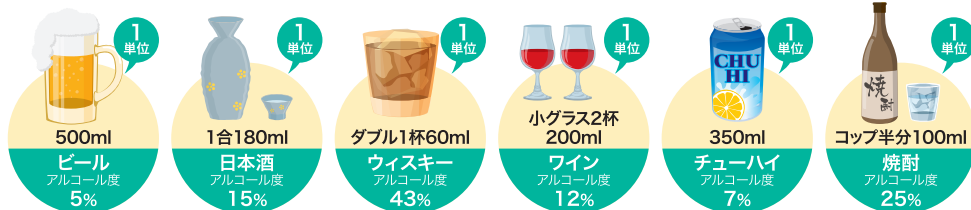
罰則:酒気帯び運転

2年以下の懲役または
30万円以下の罰金



覚えてください

アルコールの1単位=純アルコール20gを含む酒量



ここにあげたのは、純アルコール約20グラムを含む酒類です。これを「アルコールの1単位」と呼びます。焼酎やウィスキーなどアルコール濃度が高いものほど、量が少ないことがわかるでしょう。

アルコールの処理にかかる時間

1単位のアルコールを飲むと、体内での処理に飲み終わってからおよそ4時間かかります。飲酒して8時間後に勤務したとします。2単位ならアルコールは検出されませんが、3単位だと……? 検出されることになります。

飲酒運転を防ぐためにも、健康のためにも、大事なことは、**飲みすぎないこと**。3単位以上飲むのはやめましょう。なお、アルコールの分解には、体質・体重・体調・飲み方などによる個人差・性差があり、睡眠中は遅れます。



飲んだ翌日の 飲酒運転

「車中で仮眠をとって酔いをさました」「一晩寝たから酒は抜けていると思った」こんな日中の飲酒運転が増えています。目立つのは、飲み会からタクシーや代行で帰った翌日、二日酔いで運転するケース。「朝起きて日課のジョギングをし、シャワーを浴びて車で出勤途中に検挙された」という人もいます。休日の昼食時に飲み、夕方、近くのスーパーに買物に行く途中で事故を起こしたという例も。

肝臓でのアルコールの処理は思いのほかゆっくり。3単位飲んだら、半日近くかかると覚えておきましょう。6単位以上飲んだとしたら、1日たっても、脳は「ほろ酔い」状態の可能性があるのです。足が確保されていても飲みすぎには注意しましょう。